リーガルテック社 知財AI事業の現状と導入検証ポイント

リーガルテック社は特許DB連携AI「MyTokkyo.Ai」と社内ナレッジ基盤「IPGenius」を柱に、R&D前工程の調査・レビュー自動化を推進しています。一方で、網羅的調査への単独適用リスクやデータセキュリティ・法務規制（弁理士法75条）への対応など、実務導入には客観的な検証が不可欠です。

製品体系と事業展開の現状

R&D前工程への機能拡張

明細書生成から
ディープリサーチ

R&DレビューAI
エージェントへと進化

統合的な知財プラットフォーム



1ID月額3.5万円の価格構造

1ID月額3.5万円

初期費用0円で導入可能

資本金・累計調達額は
4.93億円に達する

製品・機能	主な役割・特徴	評価・導入上の留意点
MyTokkyo.Ai	対話型特許検索・ドラフト生成	検索再現率の第三者検証データが非公表
IPGenius	社内ナレッジ基盤・AIワークフロー	汎用LLMや社内独自構築との代替圧力あり
VDR	ライセンス交渉等の段階開示管理	第三者認証（ISO等）の公開情報が未指定

実務導入における検証・リスク対策

用途を限定したPoC運用

FTOや無効資料調査への単独利用は避け、出願前の初動整理に適用を限定する。

データ処理条件の書面確定

送信先LLMの学習不使用保証やリージョン、ログ保持期間を契約で明記する。

弁理士法遵守と役割分担

AI出力は出願の基礎資料とし、最終判断と弁理士レビューを必須化する。

Gemini Notebook